

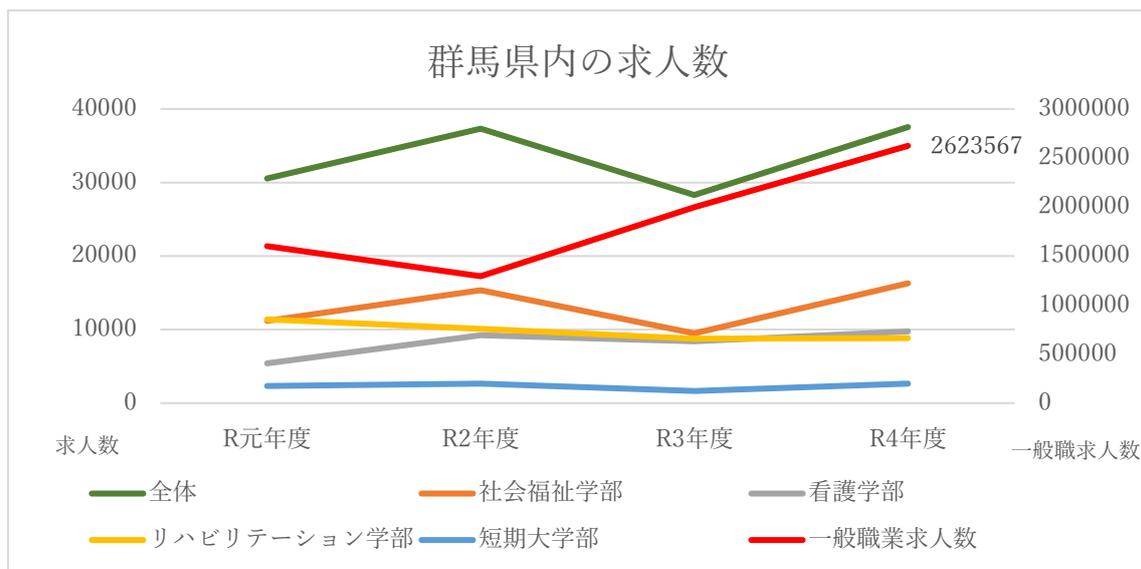
## 群馬医療福祉大学進路状況推移

厚生労働省と文部科学省では、令和4年度大学等卒業予定者の就職内定状況等を把握するため、令和5年2月1日時点における就職状況の調査を行っている。この調査によると、大学の就職内定率は90.9%(前年同期比1.2ポイント上昇)、短期大学の就職内定率は86.8%(前年同期比0.1ポイント低下)となっている。

一方で、同時点での本学の内定率は大学93%、短期大学96.9%となっており、全国と比較しても高い値となっている。その後、令和5年5月1日現在においては、大学・短期大学とも内定率100%に達している。

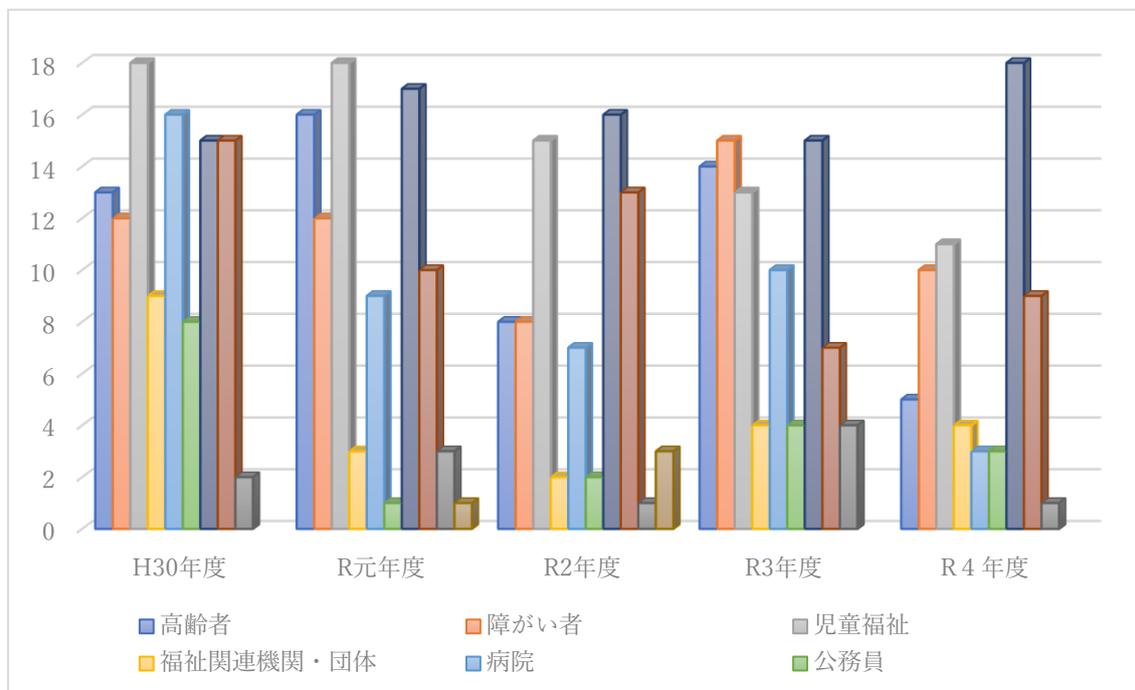
本学に寄せられる求人職種は多岐に渡っており、学部により就職先も様々である。各学部の求人数推移について過去4年分を以下のグラフに示す。次に、過去5年間の就職先について「就職先と就職者数」の推移を学部ごとに示す。

### 【本学における求人数と一般職求人数の推移】



## 【各学部における就職先と就職者数の推移】

### ◆社会福祉学部



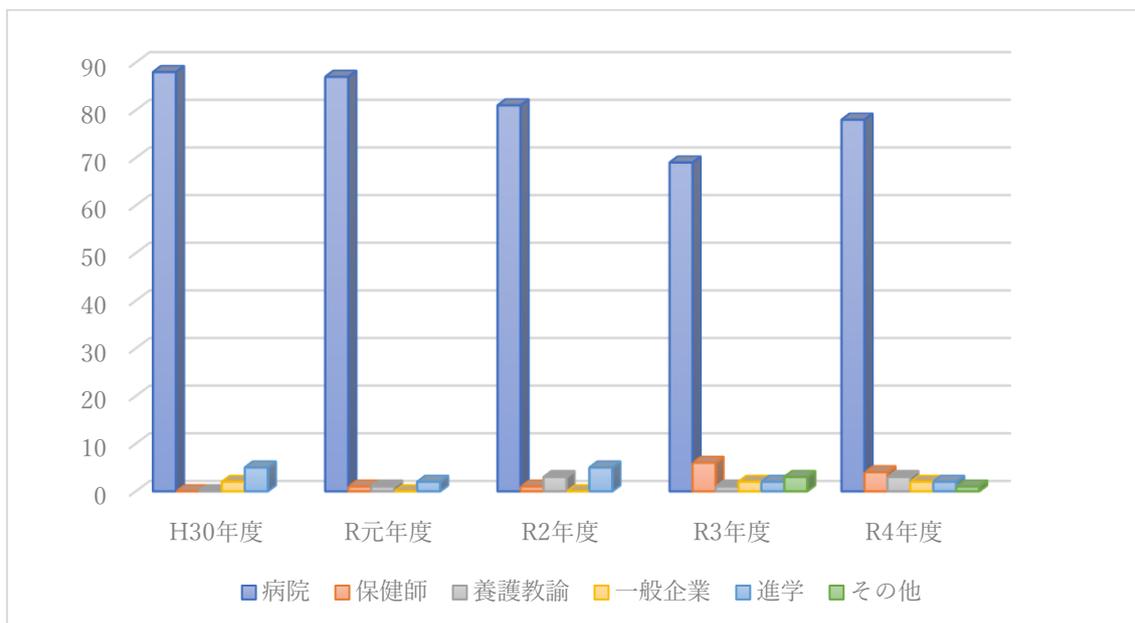
社会福祉学部は他学部 비해、進路先が広範囲に渡っている。例年公務員志向が強いため、公務員等対策委員会と協力し、継続的な支援が必要となる。短期大学部からの編入生が多く在籍している年度は比較的介護現場での就労意識が高いと思われる。

社会福祉士の活躍の場は福祉施設・医療施設・介護施設の他に、学校や少年院などもあり、多くの分野に跨っている。それぞれの場所から幅広く需要があり、本学の求人推移を見ても平成30年度から高い値を維持している。また、社会福祉士・介護福祉士の就職先で大きな役割を担っている高齢者向け施設においては特に需要が伸びており、社会の高齢化に伴って施設数も利用者数も増加していることから、今後もさらに増えていくことが予想される。

また、厚生労働省の調査によると、直近の令和4年度の保育士の有効求人倍率は3.12倍となっており、依然高い水準で推移している。少子高齢化が進む日本の現状を見ると、子どもの数が減少していることから保育士の需要も減少すると考えられるが、需要はどんどん高まっており、保育施設の将来性は、介護と並んで高いものと言える。

本学における社会福祉学部の求人倍率（群馬県内）は例年高く、令和4年度は約25倍と非常に高い値となっている。

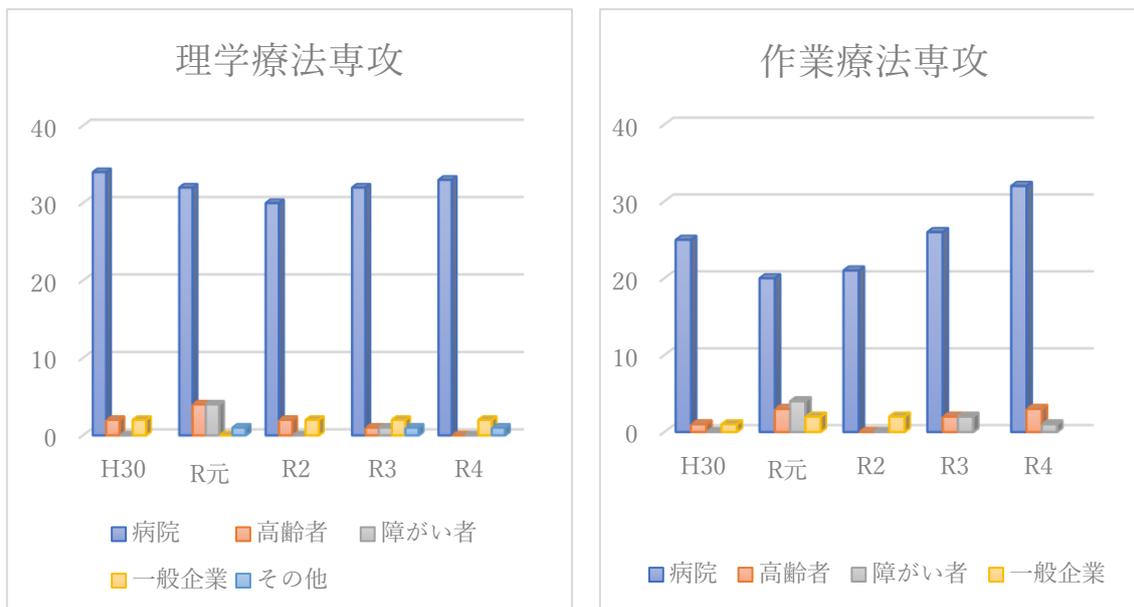
## ◆看護学部



看護学部は他学部と比べ、求人募集や就職活動の動きが早く、5月末時点での内定率とその後の内定率では10%程度しか変わらない。日本看護協会の統計資料によると、看護職員の就労数は年々増加傾向にあるものの、近年の新型コロナウイルスの影響による医療従事者の需要は急速に増加しており、供給が追いついていない状況にある。ここ数年の本学看護学部における求人倍率（群馬県内）は5倍程度を推移しており、高止まりの状態が続いている。

また、急性期の医療から、介護施設、在宅医療、訪問看護や地域包括ケア事業施設における看護まで幅広い分野での需要が高まっている。今後、更なる高齢化にともない介護関連施設等での需要の増加が見込まれており、特に看護師の人手不足は一層深刻になることが予想される。

◆リハビリテーション学部

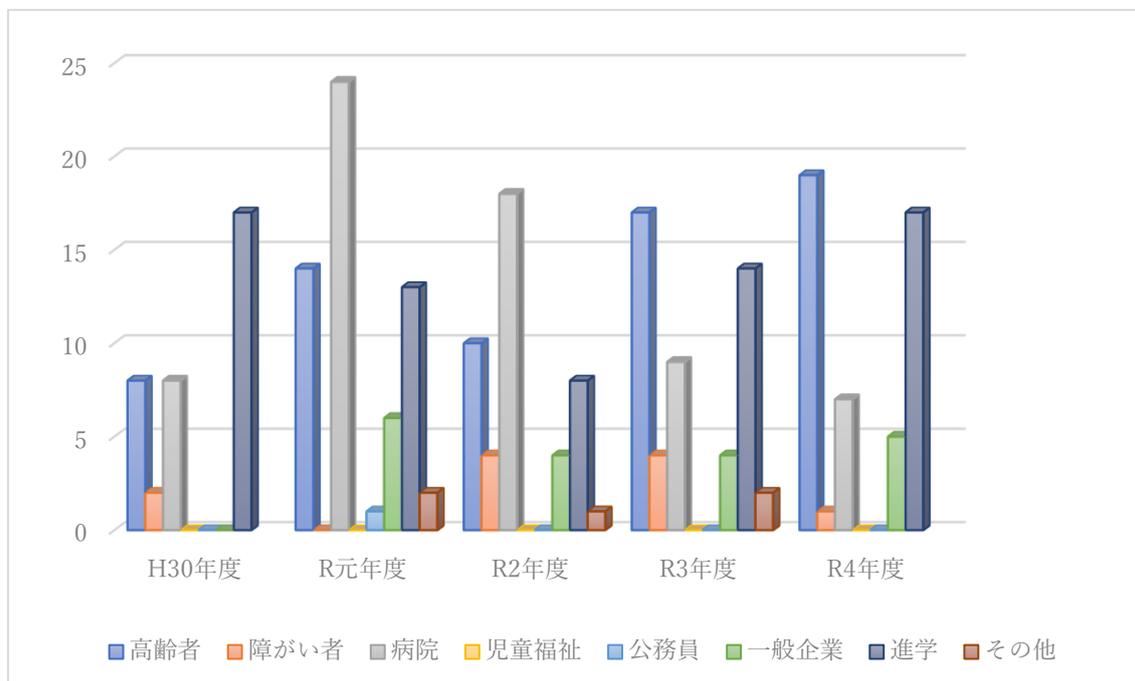


理学療法士の活躍の場は広がっており、主な就職先は病院となっているが、高齢化の進展に伴い、高齢者施設や予防リハビリ、訪問リハビリなどのニーズも高まっている。また、スポーツ分野での活躍も注目されている。本学における理学療法士の群馬県内の有効求人倍率は、近年5～6倍程度と一見すると高いが、全国的に供給過多の傾向があり、本学の学生は就職先を群馬県外まで広げなければならないのも現実である。

作業療法士は、病院、施設、地域包括ケアシステムにおける在宅支援など、活躍する場が増える一方で、国家資格を持つ人の数は増え続けている。本学の求人推移を見ても、常時新たな求人は来ているものの、令和元年度から減少傾向にあり、就職時の競争率は高くなることが考えられる。一方で、介護系の施設では作業療法士不足により「急募」となっているなど、働く領域によって求人数に偏りが出てきている。

また、国は地域共生社会の実現という方針を示しており、理学療法士・作業療法士の活動する領域は、徐々に地域活動に根ざした職へ変遷していくことが予想される。

◆短期大学部



短期大学部医療福祉学科の中には介護福祉コース及び医療事務・秘書コースがある。介護福祉コースは高齢者施設、医療事務秘書コースは病院等の医療事務として勤務する者が多い。一方、本学社会福祉学部3年次に編入学する学生や、短期大学部内の専攻科(診療情報管理教育)へ進学する学生もあり令和4年度は17名となっている。

短期大学部(介護)向けの求人数は伸び続けており、本学における令和4年度の有効求人倍率(群馬県内)は25倍以上と非常に高い値となっている。社会の高齢化に伴い介護職における人手不足は相変わらず深刻な状況にあることが伺える。また、介護福祉士の国家資格を必須とする求人もあり、専門的な介護の知識が求められている。

医療事務・秘書コースでは、求人数が少ないことや、長く勤められる職業であり採用枠になかなか空きが出ないことなどから、競争率は高い。総合病院の医療事務だけでなく、歯科、眼科や皮膚科などの単科病院やクリニックへの就職も視野に入れ就職活動をする必要がある。また、ドラッグストア等へ「登録販売者」の資格を活かし職就する者や、専攻科にて「診療情報管理士」の資格を取得し就職に繋げる者もいる。